

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環境共生保全費	5,559	5,559	5,057		(諸) 7	5,050

1 目的

自然環境保全の総合的な推進を図るために、環境影響評価(アセスメント)の審議等を行う。

2 内容

(1) 環境影響評価(アセスメント)技術審査会等開催経費 (550千円 (一) 550千円)

- ・環境に著しい影響を及ぼす恐れのある開発事業の実施に先立ち、環境影響評価(アセスメント)の審査会を開催

(2) 環境共生保全事務費 (4,507千円 (諸) 7千円 (一) 4,500千円)

- ・環境行政の円滑な推進を図るための各種連絡会議への出席や関係機関との連絡調整等の事務費

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
オフセット・クレジット推進事業費	19,542	16,205	18,000		(諸) 6,491	11,509

1 目的

地球温暖化対策を推進するために、木質燃料の利用によるCO2排出削減量や、間伐施業を行った森林におけるCO2吸収量をクレジット制度によって「見える化」、「証券化」して販売する新しい森林ビジネスを構築し、地域産業の振興を図る。また、県産材を用いた木造建築物や木製品のCO2固定量を認証し、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし、県産材の利用を促進する。

2 内容

(1) 高知県版J-クレジット制度等運営事業費 (11,326千円 (－) 11,326千円)

県内の森林資源を活用した森林吸収及び排出削減プロジェクトを対象とした高知県版 J-クレジット制度の運営を行い、クレジットを創出・販売することで地球温暖化対策と雇用の創出へつなげる。

委託事業：オフセット・クレジット認証センター運営等委託料

委託先：一般社団法人高知県山林協会(随意契約)

(2) CO2 木づかい運動推進事業費 (183千円 (－) 183千円)

CO2 木づかい固定量認証専門委員会を開催し認証について審査を行い、県産材を用いた木造住宅や木造建築施設、木製品のCO2固定量を認証することで、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし県産材の利用を促進する。固定量の算出認証事務は(1)の委託で実施。

(3) オフセット・クレジット販売促進等事業費 (6,491千円 (諸) 6,491千円)

排出削減・森林吸収クレジットの販売促進を図るため、首都圏などで開催される環境系イベントへの出展や環境先進企業への訪問、オフセットプロバイダーへの販売委託による販売体制の強化等を行い、低炭素社会のトップランナーとしての役割を果たす。

委託事業：オフセット・クレジット市場拡大事業委託料

委託先：オフセットプロバイダー(随意契約)

3 平成28年度までに実施した主な事業の実績 (平成29年3月31日現在)

(1) オフセット・クレジットの発行

・木質資源エネルギー活用事業 20,257t-CO2

H20	H21	H22	H23	H24	H25
899t-CO2	1,932t-CO2	3,089t-CO2	2,534t-CO2	5,400t-CO2	6,403t-CO2

・森林吸収量取引プロジェクト 2,305t-CO2(うちバッファ 68t-CO2)

H22	H25
285t-CO2	2,020t-CO2

(2) クレジット売却状況

- ・302件 売却等済み 9,596t-CO2

H20	H21	H22	H23	H24
899t-CO2	1,742t-CO2	1,743t-CO2	1,658t-CO2	591t-CO2
H25	H26	H27	H28	
1,744t-CO2	478 t-CO2	329t-CO2	413t-CO2	

(3) 高知県版クレジット制度のプロジェクト登録等の状況

- ・プロジェクト登録件数 12件
- ・クレジット発行量 10,444t-CO2 (H28:1,238t-CO2)
- ・クレジット販売等量(見込み)3,050t-CO2 (H28:931t-CO2)

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
清流保全推進事業費	1,451	1,451	1,310			1,310

1 目的

本県の恵み豊かな清流を次世代へ引き継ぐため、清流保全基本方針に基づいて策定した清流保全計画をベースに、流域住民や団体等との協働のもと、清流の保全・再生を図る。

また、企業の環境・CSR活動の誘致及び企業等の持つ助成制度を県内のNPO等とマッチングさせることで、清流保全活動の推進と環境の保全を図る。

2 内容

(1) 物部川清流保全計画・第2次仁淀川清流保全計画の着実な推進

物部川清流保全計画及び第2次仁淀川清流保全計画の推進母体として設立した物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会を、流域住民や事業者、国や流域市町村などと協議しながら運営し、具体的な取組を進めていく。

・清流保全条例推進事業費（484千円（一）484千円）

- ①物部川清流保全推進協議会、仁淀川清流保全推進協議会委員等報償費 306千円
- ②事務費（旅費、使用料及び賃借料） 178千円

(2) 清流保全計画の指標収集と環境学習への支援

清流保全計画に基づく取組の達成状況を把握する指標を収集するとともに、流域の小学生らが川に親しみながら、環境学習の一環として水生生物の調査などに取り組むことが出来るように支援する。

・清流保全計画指標モニタリング事業費（580千円（一）580千円）

- ①事務費（需用費） 580千円

(3) 協働の川づくり事業

森と密接な繋がりを持つ川の環境保全をテーマとし、新たな活動メニューを企画・提案することによる企業の環境・CSR活動の誘致及び企業等の持つ助成制度を県内のNPO等とマッチングさせることで、清流保全活動の推進と環境の保全を図る。

・協働の川づくり事業費（246千円（一）246千円）

- ①事務費（需用費） 246千円

3 平成28年度に実施した主な事業の実績

(1) 物部川清流保全推進協議会の取組

- ・代かき時期における濁水対策の実施
- ・一斉清掃の実施
- ・清流保全活動の普及啓発等

(2) 仁淀川清流保全推進協議会の取組

- ・ 仁淀川一斉清掃の実施
- ・ 河口ゴミの勉強会の実施
- ・ 仁淀川シンポジウムの開催等

(3) 協働の川づくり事業

- ・ 協働の川パートナーズ協定……4者

(内訳 アサヒビール株式会社、高知食糧株式会社、有限会社高知アイス、株式会社あさの)

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
四万十川総合対策費	14,305	14,305	21,128		(入) 1,728	19,400

1 目的

四万十川の総合調整を推進するため、国や愛媛県、流域市町、関係団体、住民団体などとの連携を図り、四万十川条例に基づいて、生態系や景観、生活文化財産の保全及び地域振興との調和を図るとともに、保全と振興の実践組織である（公財）四万十川財団の事業を支援する。

2 内容

- (1) 流域市町と連携した生活文化財産の保全に向けての取組（重要文化的景観を活用した流域の振興）
- (2) 共生モデル地区における住民と行政との協働の取組（四万十くろそん会議、大正なかつか会議 他）
 - ・ 四万十川流域保全振興委員会費（117千円（一）117千円）
（委員報酬）
 - ・ 重点地域等管理費（10,405千円（一）8,677千円（入）1,728千円）
 - ① 四万十川流域保全振興委員会運営等委託料 801千円
契約方法：見積競争
委託先：コンサルタント等
 - ② 四万十川流域住民意識調査委託料 1,728千円
契約方法：競争入札
委託先：コンサルタント等
 - ③ 手引書改訂委託料 6,210千円
契約方法：競争入札
委託先：コンサルタント等
 - ④ 事務費 1,666千円
（報償費、旅費、需用費等）
 - ・ 清流基準モニタリング事業費（旅費、需用費）（529千円（一）529千円）
- (3) 四万十川流域の中核的実践組織である四万十川財団の支援
 - ・ 四万十川財団活動推進事業費（9,953千円（一）9,953千円）
（四万十川財団運営費補助金）
 - ・ 事務費（124千円（一）124千円）
（報償費、需用費等）

3 平成28年度に実施した主な事業の実績

- (1) 文化的景観連絡協議会、四万十川すみずみツーリズム連絡会等との連携による流域の振興を図る取組
- (2) 四万十くろそん会議、大正なかつか会議の運営による住民協働の流域振興を図る取組
- (3) 重点地域における四万十川条例許可制度の運用

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
希少動植物保護対策事業費	19,395	19,395	27,647		(入)10,845	16,802

1 目的

県内に生息・生育する希少な野生動植物の保護を図ることにより、生物多様性の保全及び自然との共生に寄与し、健全な自然環境を将来の県民に継承する。

2 主な内容

(1) 保護対策事業費 (18,745千円 (入) 2,318千円 (一) 16,427千円)

高知県希少野生動植物保護条例に基づき、県内に生息、生育する希少野生動植物の保護に関する検討や対策等及び高知県うみがめ保護条例に基づく保護区の管理等を行う。

また、外来生物法による特定外来生物の拡大防止のための対策を行う。

① レッドデータブック改訂委託料 (動物編) (6,111千円 (一) 6,111千円)

内容：レッドデータブックの動物編の改訂のため、原稿とりまとめ、編集業務を委託する。

委託先：県内事業者

契約方法：指名競争入札

② レッドデータブック改訂委託料 (植物編) (9,399千円 (一) 9,399千円)

内容：高知県レッドリスト及びレッドデータブックの植物編の改訂のため、野生植物の実態調査やとりまとめ等の業務を委託する。

委託先：(公財) 高知県牧野記念財団

契約方法：随意契約

③ 外来種リスト作成委託料 (2,318千円 (入) 2,318千円)

内容：高知県版侵略的外来種リスト作成のための基礎調査等の業務を委託する。

委託先：(公財) 高知県牧野記念財団

契約方法：随意契約

(2) 希少野生植物食害対策事業費 (8,527千円 (入) 8,527千円)

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネット設置及び既設ネットの箇所モニタリング調査等の業務を委託する。

① 調査業務委託料 (2,560千円 (入) 2,560千円)

内容：ニホンジカの食害による希少野生植物への影響調査、ヒアリング等を行い、専門的知見による防護柵設置計画を作成する。

委託先：(公財) 高知県牧野記念財団

契約方法：随意契約

② 防護柵設置業務委託料 (1,063千円 (入) 1,063千円)

内容：防護柵設置計画に基づいた柵の設置業務を行う。

委託先：県内森林組合

契約方法：随意契約

③モニタリング調査業務委託料（4,904千円（入）4,904千円）

内容：前年度までに設置した防護柵の効果を把握するため、モニタリングやヒアリングを実施する。

委託先：(株)西日本科学技術研究所

契約方法：随意契約

(3) 生物多様性地域戦略推進事業費（375千円（一）375千円）

生物多様性基本法に基づき策定した「生物多様性こうち戦略」の推進及び進捗管理を行う。

なお、生物多様性こうち戦略に基づく推進リーダーの育成及び普及啓発事業については、平成29年度から環境活動支援センター事業に統合し、取組体制を強化する。

3 平成28年度に実施した主な事業の実績

(1) 希少野生植物の保全及び外来生物対策

県内の希少野生動植物等の保護対策及び特定外来生物等の拡大防止対策を実施。

- ・高知県レッドリスト（動物編）2017改訂版作成
- ・高知県レッドリスト（植物編）改訂委員会開催（年2回）及び調査対象種リスト作成
- ・特定外来生物「セアカゴケグモ」の行政担当者勉強会（平成28年9月5日 48名参加）
- ・特定外来生物「オオキンケイギク」の防除チラシ作成（2万5千枚）及び配布
- ・うみがめ保護啓発の看板を設置：2箇所（入野海岸、田野浦海岸）

(2) 希少野生植物の食害対策

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネットの設置や既設ネットのモニタリング調査等を実施。

- ・調査箇所：7箇所
- ・防護ネットの設置：3箇所 550m延長
- ・既設ネットのモニタリング：全箇所（37箇所）点検、モニタリング9/37箇所

(3) 生物多様性地域戦略の普及啓発

平成25年度に策定した「生物多様性こうち戦略」を広く一般に周知するため、啓発事業を実施。

- ・広報誌「こうちの生物多様性」の配布：県内小学校5・6年生徒他関係機関へ2万部配布
- ・生物多様性こうち戦略推進リーダー会議の開催：1回
- ・「さがそう、身近な生物多様性」フォトコンテスト作品の写真展の実施：1回（フジグラン高知）
- ・生物多様性こうち戦略フォーラム「生物多様性×DASH村?!」の開催（1月29日のべ450人参加）
- ・高知生物多様性ネットワーク主催のイベントへの参加

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等施設整備事業費	22,747	22,747	18,557	6,505		12,052

1 目的

自然公園や長距離自然歩道（四国のみち）などの施設整備を行った箇所において、長年の使用等により老朽化したものや危険な箇所等を修繕し、訪れる観光客の快適な利用や安全を確保する。

2 内容

(1) 施設改修工事等の実施（18,557千円（国）6,505千円（一）12,052千円）

- ・天狗高原へのみち（仁淀川町）改修工事
- ・竜串園地遊歩道改修工事
- ・竜串展望台撤去工事
- ・天狗高原カルスト学習館トイレ洋式化工事
- ・月見山こどもの森管理棟空調施設工事 他

3 平成28年度に実施した主な事業の実績

- (1) 四国のみち看板改修等工事
- (2) 見残園地展望台手摺改築工事
- (3) 月見山こどもの森遊具改修工事
- (4) 月見山こどもの森管理棟簡易水洗化工事 他

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等管理費	14,538	14,538	17,973		(諸) 3,961 (使) 9	14,003

1 目的

自然公園法及び県立自然公園条例により指定された国定公園や県立自然公園などの保護管理を充実させるとともに、公園利用の適正化を図る。

2 内容

(1) 自然公園管理費 (3,554千円 (使)9千円 (一)3,545千円)

・現地調査等に要する活動旅費等

(2) 県立こどもの森管理運営費 (8,998千円 (諸)3,961千円 (一)5,037千円)

① 月見山こどもの森管理運営委託料 (8,180千円 (諸)3,961千円 (一)4,219千円)

内 容：県立月見山こどもの森施設の指定管理者による管理代行料

指 定期間：H27. 4. 1～H30. 3. 31 (3年間)

指定管理者：情報交流館ネットワーク

② 月見山こどもの森パンフレット作成委託料 (390千円 (一)390千円)

③ その他事務費 (428千円 (一)428千円)

(3) 四国のみち管理費 (5,166千円 (一)5,166千円)

・四国のみち管理委託料 (5,166千円 (一)5,166千円)

内 容：昭和56年度から整備した長距離自然歩道(四国のみち)の維持管理に要する委託料

委 託 先：18市町村、高知市シルバー人材センター、野根山街道保存協議会

路 線 数：36ルート(延長411.0km)

(4) 自然公園指導員活動強化事業費 (255千円 (一)255千円)

・自然公園指導員の活動にかかる経費

3 平成28年度に実施した主な事業の実績

(1) 県立月見山こどもの森の管理運営委託

① 年間利用者数 22,683人

② 道の駅やすやごめんなはり線等の施設との連携を図る事業

③ 地元ボランティア団体等、地域組織の活性化を図る事業

(2) 四国のみち管理委託

① 36ルート、411.0kmの草刈り等

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
牧野植物園管理運営費	379,899	410,792	542,623		(使) 125 (債) 32,000	510,498

1 目的

牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、県民に対し憩いの場を提供するため、県立牧野植物園の管理運営を行うとともに、「世界に誇れる総合植物園」に向けた磨き上げ整備を推進する。

2 内容（平成29年度）

(1) 牧野植物園管理運営費（366,281千円（使）125千円（一）366,156千円）

牧野植物園の指定管理者による管理代行料

- ・指定期間：H28.4.1～H33.3.31（5年間）
 - ・指定管理者：（公財）高知県牧野記念財団
 - ・イベント等の開催
 - ①「Dramatic Makino2017 ～春、草木が語りだす～」（平成29年3月11日から5月7日まで）
 - ②特別展「高橋宣之「横倉山」ネイチャーフォト展」（平成29年4月22日から6月18日まで）
 - ③企画展「『きび』と高知のくらし」（平成29年7月15日から10月9日まで）
 - ④企画展「ミャンマー大紀行～碧き回廊をゆく～」（平成29年12月9日から平成30年5月6日まで）
- ほか

(2) 運営費（66,340千円（一）34,340千円（債）32,000千円）

牧野植物園の管理運営に係る環境共生課の運営費

- 施設の維持修繕
 - ・設備改修工事設計委託、設備改修工事監理委託、用地測量調査委託
 - ・設備改修工事、記念庭園木製デッキ改修工事
- その他の運営
 - ・指定管理者事業評価委員会の運営 ほか

(3) 牧野植物園磨き上げ整備基本構想策定事業費（8,001千円（一）8,001千円）

○目的

牧野植物園のポテンシャルを最大限に生かし、「世界に誇れる総合植物園」となるよう磨き上げを図る。

○取組みの方向性

- ・観光振興への貢献
- ・研究・産業振興への貢献
- ・教育への貢献

○主な事業費

- ・基本構想策定委託費
- ・検討委員会運営費 ほか

(4) 牧野植物園磨き上げ整備事業費（102,001千円 （一）102,001千円）

- 園内ガイド養成事業費
- 事業戦略策定支援業務委託費
- 施設整備費
 - ・ファミリー園（仮称）等造成工事測量設計委託
 - ・南園及び温室の管理・効果照明設置工事測量委託 ほか

3 平成28年度に実施した主な事業の実績

(1) 牧野植物園入園者数 146,354人（平成29年3月末時点）

(2) イベント等の開催

- ①「Dramatic Makino ～植物園に行こう！～」（3/12～5/29（79日間） 51,185人）
- ②企画展「昆虫★植物展」（7/16～9/4（51日間） 18,180人）
- ③企画展「牧野富太郎の植物図」（10/2～1/9（94日間） 34,680人） ほか

(3) 磨き上げ整備事業

○磨き上げ整備基本構想検討委員会（平成28年8月設置）

- ・設置目的：基本構想の策定
- ・構成：有識者や地元の代表者などの委員14名及びアドバイザー1名 計15名
- ・検討内容
 - ・第1回（8月）：園のあるべき姿について意見交換
 - ・第2回（9月）：基本構想（たたき台）について協議
 - ・第3回（11月）：第一期構想（素案）について協議
 - ・第4回（3月）：第一期構想（案）について協議

※ファミリー園（仮称）及びスタディ園（仮称）のゾーニングと機能ほか

○磨き上げ整備基本構想策定委託（平成28～29年度）

- ・契約期間：平成28年9月16日から平成29年9月29日まで
- ・内容：基本構想の取りまとめ及び基本計画（整備事業費の概算及び事業計画）の策定

○主な整備事業（平成28～29年度）

- ・ファミリー園（仮称）及びスタディ園（仮称）用地測量委託

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
豊かな環境づくり 総合支援事業費	5,127	5,127	5,098			5,098

1 目的

高知県環境基本計画第四次計画の目指す3つの社会づくりを実現するために、NPOや任意団体等が行う地球温暖化対策の啓発活動や河川の環境保全及び環境学習等に対して総合的に支援する。

2 内容

(1) 豊かな環境づくり総合支援事業費補助金 (5,000千円 (一) 5,000千円)

「高知県環境基本計画第四次計画」(平成28年4月策定)において示す5つの対象分野(以下のとおり)の県内で実施される事業であり、3つの社会づくり(低炭素社会づくり、循環型社会づくり、自然共生社会づくり)を目指す取組に対して補助金を交付する。

○補助対象事業：次に掲げる5分野に資すると認められるハード事業及びソフト事業

- ・地球温暖化への対策
- ・循環型社会への取組
- ・自然環境を守る取組
- ・環境ビジネスの振興
- ・環境を守り育てる人材の育成

○補助先：NPO等

○補助率：定額(1団体当たりの補助金の範囲が500千円以下)

(2) 事務費 98千円 (一) 98千円)

3 平成28年度に実施した主な事業の実績

○事業件数：12件

- ・(一社)土佐清水市観光協会(500千円：足摺藪椿再生プロジェクト事業)

椿の育苗と植樹、メダケの伐採等による自然環境や景観の保全を行う。

- ・おのおのみエコロジーファーマーズ(393千円：四万十川清流度調査・水生生物調査)

食の安全について分かりやすくするため、農地周辺の水質及び生態系の調査や保全活動を行い、自然環境保全のための啓発を行う。

- ・衣笠自治体(500千円：蛍の里づくり事業)

周辺の工事により豊かな環境が失われた地区を、小学校や地域と連携した多様な生物が生息できる環境再生事業を行う。

ほか

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
公園施設等災害復旧事業費	5,000	5,000	5,000		(債) 5,000	

1 目的及び内容

自然公園区域内の施設が降雨、暴風、洪水、津波その他異常な自然現象によって被災又は破損した場合に、当該施設を原型に復旧する。

2 平成28年度に実施した主な事業の実績

対象となった災害なし

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然保護基金管理費 (特別会計)	1,359	1,359	1,351		(財) 201 (越) 1,150	
<p>1 目的 高知県自然保護基金条例及び高知県自然保護基金管理規則に基づき、県内の自然環境に優れた土地を取得し、自然保護を推進する。</p> <p>2 内容 県が取得した土地の維持管理を行う。</p> <p>3 平成28年度に実施した主な事業の実績 県有地内において管理の支障となっている支障木の伐採を実施</p>						

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環境企画費	1,311	1,311	871			871

1 目的

環境基本法第43条及び自然環境保全法第51条に基づき、高知県内の自然環境や生活環境の保全に関する重要事項等を調査審議するために設置された「高知県環境審議会」を開催する。

また、高知県環境基本条例第8条に基づき、環境の状況や環境に関する施策の実施状況等を明らかにするため、「高知県環境白書」を発行する。

2 内容

【環境審議会】

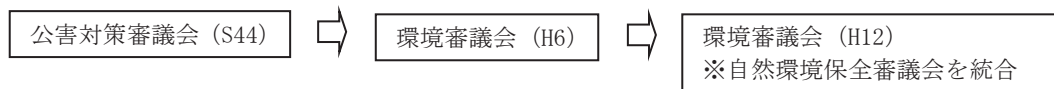
＜これまでの審議会の経過＞

H6年8月：高知県環境審議会を設置（高知県環境審議会条例の施行）

※H5に公害対策基本法が廃止され、環境基本法が成立したことに伴い、高知県公害対策審議会を廃止

H12年4月：高知県自然環境保全審議会を高知県環境審議会に統合

※H11に環境基本法及び自然環境保全法が改正されたことに伴い、環境審議会及び自然環境保全審議会の組織名称に関する必置規制が緩和



＜審議会関係法令＞

【国】環境基本法、自然環境保全法、水質汚濁防止法及び施行令、温泉法

【県】環境審議会条例、環境審議会運営規程、環境審議会傍聴要領

＜審議会の現状＞

- ・審議会は5つの部会で構成（総合部会・水環境部会・生活環境部会・自然環境部会・温泉部会）

- ・審議会は年1回、各部会は随時開催

- ・審議会委員は23名の学識経験者及び関係行政機関職員で構成

※会長：石川慎吾（高知大学教育研究部教授）、副会長：内田 洋子（くらしを見つめる会代表）

※委員任期は2年（H29.1.17～H31.1.16）、次回改選年度はH30年度の予定

【環境白書】

＜白書概要＞

- ・発行する前年度の具体的施策の取組結果及び当年度の具体的施策の取組内容を掲載する。

- ・環境基本計画やその他環境分野の個別計画における進捗状況の点検結果の報告としての機能を併せ持つ。

<環境白書発行スケジュール>

- 5月～ : 白書の構成等の検討(課題・問題点の整理、発行時期、特集記事掲載項目等)
- 6月上旬: 白書原稿作成依頼(庁内各課へ依頼、締切は7月上旬)
- 7月～ : 白書原稿確認(文言、写真等の整理、各項目のページ配分振り分け)
- 8月上旬: 総務事務センターへ用品請求(入札→印刷業者確定) ※印刷発注から初校まで約1ヶ月
- 9月～ : 白書校正(2回、原稿作成課へ作業依頼)
- 10月末: 白書発行(関係先配付)

※平成28年度環境白書(H28年12月発行)の構成

- 1 特集記事(外来種対策の推進)
- 2 高知県の環境政策(環境全般に関する施策: 環境基本計画、環境審議会等)
- 3 分野別の具体的施策等(①地球温暖化への対策、②循環型社会への取組、③自然環境を守る取組、④環境ビジネスの振興、⑤環境を守り育てる人材の育成)
- 4 参考資料(林業・環境関連補助金等及び融資制度)
- 5 問い合わせ先(掲載記事ごとに担当課を記載)

事業名	平成28年度	平成28年度	平成29年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環境活動支援センター事業費	15,379	15,379	16,324		(入)3,219	13,105

1 目的

県民の環境活動や環境学習の推進拠点として、環境情報の発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催などの事業を実施することにより、県民一人ひとりの環境への関心を高めて環境に優しいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ低炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の構築を目指し、生物多様性こうち戦略に基づく普及啓発を行うため、環境活動支援センターを運営する。

2 内容

(1) 環境活動支援センター事業実施委託料 (16,276千円 (入) 3,219千円 (一) 13,057千円)

県民の環境活動を支援し、環境学習などを推進する拠点としての環境活動支援センターの運営及び普及啓発等の事業を委託する。

(2) 事務費 (48千円 (一) 48千円)

プロポーザル審査委員会の開催

3 平成28年度に実施した主な事業

- ① 情報発信・・・ホームページの運営、メールマガジンの配信、SNSによる情報発信等
- ② 環境学習支援・・・環境学習講師派遣、環境絵日記コンテスト、こどもエコクラブ事業、地球温暖化防止イベント、環境団体活動報告会、バイオマス発電所等見学ツアーなど
- ③ 環境保全の普及啓発・・・ネイチャーフォト・コンテスト、地域イベントへの出展